

# 令和5年度 事業報告

(自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日)

公益財団法人大阪腎臓バンク

## 概 況

### 1. 理事会及び評議員会の開催状況

- 令和5年5月10日(水) (理事会)  
令和4年度事業報告(案)及び決算(案)、原案通り承認された。
- 令和5年5月26日(金) (定時評議員会)  
令和4年度決算(案)を原案どおり承認した。その後、任期満了に伴い新たに推薦された理事26名監事2名について原案通り選任するとともに、新たに評議員2名を選任した。
- 令和6年2月21日(水) (理事会)  
令和6年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について原案どおり承認された。

### 2. 基本財産の状況

令和5年度末(令和6年3月31日) 基本財産 60,000,000円

## 事業報告

### 1. 腎不全実態調査助成事業 (20万円)

近畿献腎移植施設会議症例検討会に20万円の助成を行った。  
(大阪透析研究会及び腎移植施設連絡会は調査・解析研究事業を休止)

### 2. 若手研究者に対する研究助成 (500万円)

令和5年度の研究助成事業も、大学・病院医師・コメディカルといった様々な所属や移植・透析・CKDといった様々な医療分野からの申請を一律に審査していた方法を改め、様々な分野の研究テーマに幅広くチャンスを与えるため、施設・資格、医療分野ごとに枠を設け、その各々の枠の中で審査を行うこととした。その結果、14件の申請に対して基礎分野は5件、臨床分野は7件を助成対象としたが、コメディカル部門は応募がなかった。

|   |  |
|---|--|
| 1 | 前之園 良一 (大阪医科薬科大学医学部 泌尿器科学教室 医師 助教)<br>老化や性差などの身体的変化や生物学的差異が腎移植後の成績に与える影響についての研究<br>臨床 助成額 30万円 (OKF23-0001)    |
| 2 | 今井 淳裕 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 医師 医員)<br>細胞間コミュニケーション解析に基づく腎尿細管間質線維化治療ターゲットの探索<br>基礎 助成額 50万円 (OKF23-0002)         |
| 3 | 宮岡 大知 (大阪公立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学 医師 特任助教)<br>末期腎不全患者に特徴的な腸内細菌をターゲットとしたファージ由来特異的溶菌酵素の同定<br>基礎 助成額 30万円 (OKF23-0003) |
| 4 | 中村 隼 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 医師 医員)<br>リソソームのマスター制御因子 TFEB に着目した老化関連腎アミロイドーシスの病態解明<br>基礎 助成額 100万円 (OKF23-0004)   |

|    |   |
|----|---|
| 5  | 戸田 尚宏 (関西電力病院 医師 血液浄化センター長)<br>腹膜透析血液透析併用療法(PD+HD)における1週間の腹膜透析除水量の変化の検討<br>臨床 助成額 20万円 (OKF23-0005)                     |
| 6  | 深江 彰太 (大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 (泌尿器科学) 大学院生)<br>腎移植後BKウイルス腎症に対するTCRレパトア解析<br>基礎 助成額 20万円 (OKF23-0006)                     |
| 7  | 岩田 幸真 (堺市立総合医療センター 腎臓内科 医師 副医長)<br>ABCG2 遺伝子多型によるSGLT2阻害薬の尿酸降下作用の違いについて<br>臨床 助成額 20万円 (OKF23-0007)                     |
| 8  | 松田 潤 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学講座 医師 特任教授)<br>ポドサイトのGIT2に着目した新たなRac1制御機構の解明<br>基礎 助成額 50万円 (OKF23-0008)                       |
| 9  | 三木 祐哉 (大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 後期研究医)<br>維持血液透析患者における血清オンコスタンチン濃度と骨格筋量・筋力との関連<br>臨床 助成額 20万円 (OKF23-0009)             |
| 10 | 大河内 善史 (大阪大学大学院医学系研究科 統合生理学 教員 准教授)<br>家族性低リン血症性くる病(HHRH)の治療法の確立を目指しSLC34A3(NaPi-Iic)の機能解析<br>臨床 助成額 100万円 (OKF23-0012) |
| 11 | 山内 壮作 (関西医科大学 小児科学講座 医師 講師)<br>乳児期有熱性尿路感染症の発症リスクとしての腸内細菌叢の乱れ<br>臨床 助成額 30万円 (OKF23-0013)                                |
| 12 | 加藤 大悟 (大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科 医師 助教)<br>結節性硬化症に伴う腎血管脂肪腫に関連する新たな関連遺伝子変異の同定<br>臨床 助成額 30万円 (OKF23-0014)                       |

### 3. 優秀論文に対する褒賞(40万円)

令和5年3月の第98回及び9月の第99回大阪透析研究会で発表され、優秀論文選考委員会で選ばれたもの年間8件を表彰し、褒賞金各5万円を贈呈した。

#### (1) 第98回大阪透析研究会優秀論文

|   |   |
|---|---|
| 1 | ベットシート交換時の感染対策に紫外線照射量増強が及ぼす影響について<br>(錦秀会 阪和記念病院)         |
| 2 | 認知症患者へのアプローチ ～パーソン・センタード・ケア(PCC)を取り入れて～<br>(医療法人良秀会 藤井病院) |
| 3 | バスキュラーアクセスの機能評価における検討<br>(大阪公立大学医学部附属病院)                  |
| 4 | 血液透析患者における主観的ADL困難感と筋力の連携<br>(社会医療法人愛仁会 井上病院)             |

#### (2) 第99回大阪透析研究会優秀論文

|   |   |
|---|---|
| 1 | 当院の理学療法士の取り組みと役割<br>(岸辺くすのき透析クリニック)                   |
| 2 | 透析開始時・終了時における安全への取り組み<br>(社会医療法人警和会 第二大阪警察病院 臨床工学科)   |
| 3 | 透析患者におけるデノスマブ投与後の低Ca血症予防策の適用タイミングに関する検討<br>(白鷺病院 薬剤科) |
| 4 | コロナ禍における透析リハビリについて ～筋トレでパワーをつけよう～<br>(同仁会 耳原総合病院)     |

#### 4. 教育研修助成事業

関西医科大学附属病院に対し、第59回日本移植学会総会への参加費用22,720円を助成した。

#### 5. 学会等共催事業 (2499万円)

腎・尿路疾患の予防と治療に関する学術研究の推進に寄与するため、学会等共催審査委員会で承認された学会及び研究会の共催事業を実施した。

##### (1) 学会

|   |                        |   |
|---|------------------------|---|
| 1 | 第99回大阪透析研究会            | 主宰：浅井 利大 (大阪市立総合医療センター)<br>開催：令和5年9月3日<br>於：大阪国際会議場         |
| 2 | 第73回日本泌尿器科学会中部総会       | 主宰：藤本 清秀 (奈良県立医科大学)<br>開催：令和5年10月12~14日<br>於：奈良県コンベンションセンター |
| 3 | 第29回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会 | 主宰：長沼 俊秀 (大阪公立大学大学院)<br>開催：令和5年11月25・26日<br>於：大阪国際交流センター    |
| 4 | 第100回大阪透析研究会           | 主宰：東 治人 (大阪医科薬科大学)<br>開催：令和6年3月3日<br>於：大阪国際交流センター           |

##### (2) 研究会

|   |                    |                          |
|---|--------------------|--------------------------|
| 1 | 日本組織適合性学会近畿地方会     | 代表世話人 芦田 隆司 (近畿大学病院)     |
| 2 | 大阪腹膜透析研究会          | 会長 林 晃正 (大阪急性期・総合医療センター) |
| 3 | 大阪腎移植病理組織研究会       | 代表世話人 岸川 英史 (兵庫県立西宮病院)   |
| 4 | 腎疾患フロンティア研究会       | 代表世話人 角田 洋一 (大阪大学大学院)    |
| 5 | 慢性腎臓病(CKD)アウトカム研究会 | 代表幹事 倉賀野 隆裕 (兵庫医科大学)     |
| 6 | 大阪骨粗鬆症検診を考える会      | 会長 稲葉 雅章 (大野記念病院)        |

#### 6. 普及啓発事業 (256万円)

##### (1) キャンペーン活動及び啓発資料作成・配布

10月15日開催の「第50回堺まつり」にて街頭キャンペーンを実施、また、10月28日開催の「第49回すみよし区民まつり」にブースを出展し街頭キャンペーンを実施した。

##### (2) 患者団体活動助成

患者団体の活動に対し助成を行った。

1. NPO法人 大阪腎臓病患者協議会 (大腎協)
2. NPO法人 日本移植者協議会 (日移協)
3. 大阪移植の会
4. 大阪腎友会

##### (3) 勉強会の開催及び機関誌発行等

大阪府と共催で「臓器提供に関する研修会」及び「大阪府院内移植コーディネーター研修会」を開催した。

1. 11月 12日 大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター)
2. 1月 19日 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー
3. 3月 8日 大阪府庁本館

また、OKF ニュース NO. 64 を発行し賛助会員等に配布するとともにホームページを更新した。

7. 組織適合検査事業 (484 万円)

- (1) 検査体制の整備に努めるとともに、検査事業の向上・改善を図るため、日本臓器移植ネットワーク、検査機関、移植施設と意見・情報交換を行った。
- (2) 献腎移植希望登録を円滑に行うため、組織適合検査 (HLA 検査、クロスマッチ検査) を当財団の費用負担 (一部、府補助金及び患者負担あり) により、大阪急性期・総合医療センターで実施した。
  - ・ HLA 検査 88 件 (うち、患者負担徴収分 87 件)
  - ・ 抗体クロスマッチ検査 0 件

8. 大阪府臓器移植コーディネーター事業 (735 万円)

- (1) 日常活動として、三次救命救急センター、公的病院、民間病院の 19 医療施設を延べ 57 回訪問し、移植推進のための情報交換や普及啓発資料等配布した。臓器提供可能医療機関に対し移植医療の普及啓発を図るため、院内移植コーディネーター設置支援や臓器の提供に関する研修会の開催など提供体制の強化に努めた。また、大阪府、日本臓器移植ネットワークとの連絡調整業務を行った。
- (2) ドナー発生時は日本臓器移植ネットワークの指示により腎臓提供を承諾する通報から腎移植に至るまで、腎提供施設・移植施設との連絡調整、組織型の適合した移植希望登録者への連絡、検体・腎臓の搬送、ドナー遺族への対応を行った。
- (3) 令和 5 年度における、大阪府内でのドナー情報は 17 件あり、提供に結びついたのは 7 件であった。

<令和 5 年度 献腎移植実績>

提供：府内 5 件 10 腎、府外 7 件 7 腎  
 移植：府内 15 腎、 府外 2 腎 計 17 腎

| 年 月 日        | 提供病院             | 移植病院           | 備考  |
|--------------|------------------|----------------|-----|
| 5 年 5 月 6 日  | 大阪府立中河内救命救急センター  | 大阪市立総合医療センター   | 脳死  |
|              |                  | 大阪公立大学医学部附属病院  |     |
| 5 月 31 日     | (愛知県内)           | 大阪急性期・総合医療センター | 脳死  |
| 7 月 17 日     | (大阪府)            | (大阪府)          | 心停止 |
|              |                  | (大阪府)          |     |
| 8 月 11 日     | (京都府内)           | 大阪急性期・総合医療センター | 脳死  |
| 8 月 12 日     | (西日本地方)          | 大阪大学医学部附属病院    | 脳死  |
| 9 月 21 日     | (近畿地方)           | 大阪市立総合医療センター   | 脳死  |
|              |                  | 神戸大学医学部附属病院    |     |
| 9 月 21 日     | (大阪府内)           | 大阪医科薬科大学病院     | 脳死  |
|              |                  | 大阪急性期・総合医療センター |     |
| 11 月 25 日    | 神戸市立医療センター中央市民病院 | 大阪大学医学部附属病院    | 脳死  |
| 12 月 14 日    | 長崎大学病院           | 大阪大学医学部附属病院    | 脳死  |
| 6 年 1 月 20 日 | 済生会滋賀県病院         | 大阪大学医学部附属病院    | 脳死  |
| 2 月 20 日     | 国立循環器病研究センター     | 九州大学病院         | 脳死  |
|              |                  | 大阪急性期・総合医療センター |     |
| 3 月 23 日     | 京都第二赤十字病院        | 大阪大学医学部附属病院    | 脳死  |